

# 帷子地区センター はづらつ(認知症予防教室) 日誌

日時 令和 4年 8月 22日 月曜日 10:00~11:30 天候 晴れ

チームN	中津 須田
------	-------

## 1 スケジュール

プログラム名	備考
挨拶 HWリアリティオリエンテーション 姿勢・発声トレーニング ( 中津 )	
ストレッチ・筋トレ ( 須田 )	
認知症予防講座 ( のぞみの丘ホスピタル 看護師 渡邊博文氏 )	事務・写真撮影 運営スタッフ
コグニサイズプログラム ( 中津 )	
挨拶	

## 2 認知症予防講座 (俗称: プチ講座)

講座名	内容
認知症の方との関わり方に ついて～認知症看護視点から～	
担当	タイトルは認知症の方との関わり方…今回の講師は、BPSDにより入院治療が必要な方を治療・看護・リハにて支援する目的の認知症治療病棟の看護師である。認知症で問題とされるのがBPSD。中核症状に心理的・身体的・環境的な要因が加わり、認知症の方の混乱につながってしまう…対応方法は、その方の世界を理解することが大切！！早期での治療が大切であり、支えるご家族には…「早く、専門の医療機関に相談を！」とメッセージ。認知症の専門治療病棟の機能を地域の方に発信される良き機会となった。法人が担う認知症に関連する様々なサービス（機能）は、全てつながっていなければ成立しない。
のぞみの丘ホスピタル 認知症認定看護師 渡邊博文	
時間	
10:50 ~ 11:20	

## 3 コグニサイズメニュー

内容
足踏み + 数唱 (数字の課題にて上肢操作・手拍子)
足踏み + 作業記憶課題 (数字と手指動) ストループ課題 (文字・色の識別)
足踏み + 数字と関連付けた 他者との身体 (活動) 課題 計算・言語課題
1人で行うコグニサイズと感染対策を徹底し対面 (ペア) でのコグニサイズ。

## 4 その他メニュー

バイタルサインプログラム①	→ 受付にて検温・問診
バイタルサインプログラム②	→ 血圧測定
相談 ⇒ 参加者さまからのニーズに合わせて対応	包括スタッフに随時報告
初期評価 → 握力・TUG・反応速度・質問紙	※未測定の方へ実施も含む。

## 5 反省・次回の予定など

新型コロナウィルス感染対策を行いながら教室運営。マスク着用、手指消毒などの標準対策はもちろんのこと換気やソーシャルディスタンスにも気を配りながらトレーニングを実施。運動に伴う体調変化や転倒予防も常時、気を付けていく。	参加者数		
	性別	男性	女性
	人数	6	23
	合計	29	/ 37名中

## 6 参考資料・教室の様子など

**新型コロナウィルス  
感染対策を講じながらの教室開催！！**

**認知症の考え方**

- 認知症の人が望む介護を提供するには、まずは認知症の人が**体験している世界を知ることが必要である。**
- 認知症の人が日々の生活の中でどのような体験をして、どのような生活に困難を感じ、どのような介護を必要としているのか、**その思いを知ることから** 認知症の方との関わり方が始まる。

**第14回 プチ講座**  
講師：のぞみの丘ホスピタル 看護師長 渡辺博文 氏  
**認知症の方との関わり方！**  
認知症の方への関わり方はどのようにすべきなのか。  
入院治療の視点から分かりやすく説明！